

談話室

産経新聞 令和2年(2020年)4月27日(月)

児童虐待 未然に防ぐために

大学生 西尾この実 20

虐待の疑いがあるとして昨年、全国の警察が児童相談所(児相)に通告した子供が、最悪の約9万7千人に上ったという記事を読みました。テレビやインターネットで報道されている以上に児童虐待件数があることを、もっと知る必要があると感じました。

虐待にはさまざまな種類がありますが、いずれも防ぐために大事なことは「少しの異変」に気づくことだと思います。

周囲が、子供の様子や表

情、親や養育者の接し方の変化が分かれば、最悪の事態は免れるかもしれない。そのためにも、近所付き合いや地域活動に、積極的に参加していくことが大切です。

「どうすれば児童虐待を減らすことができるか」「未然に防ぐことができるか」。家族だけでなく、周囲の一人一人が意識していかなければならない。いま自分に何ができるのかを、よく考えていきたいです。

(和歌山県橋本市)

※無断転載不可